

ハイチ共和国との 交流事業

総務教育
常任委員会

8月16日協議会開催

2020年東京オリンピック参加国の、ハイチ共和国のホストタウンとして登録申請し、回国選手団を本町に招き、スポーツ・文化交流を行う。

問 どのような交流事業を行うのか。

答 図書館などで、ハイチの文化を知らせる絵画展などを考えている。ハイチの選手には、日本の夏祭りなども体験していただきたい。

問 どのようた交流事業を行うのか。

き、小・中・高校生とのスポーツ交流を、学校の理解を得て進めたい。

**ふるさと納税
申し込み状況**

ふるさと納税の基準団体として、総務省から本町も指定された。

7月末で、寄附金は前年度同時期を上回っている。

問 返礼品に幸田町の物産品を、拡大して募集する考えは。

答 担当者が、直接事業者を訪ねて、返礼品の拡大を図っていく。



カリブ海に浮かぶハイチ共和国

小中学校整備予定地 などを視察

7月26日管内視察

岡崎幸田消防指令センター

平成30年4月から、岡崎市と幸田町の共同設置として運営開始。日勤2人を含めて22人の職員が、2交代制で年間2万件の119番通報に対応している。固定電話からの通報は、瞬時に前方画面にて、位置が確認できる。



消防指令センターで説明を受ける

北部中学校

既設校舎の改修計画及び県道安城幸田線東側に弓道場、テニスコート、駐車場を整備する校外用地を視察。排水対策に留意を求め併せて既設校舎において教室、職員室などの改修が施工される。

豊坂小学校

児童数増加に対応するために施工される。既設校舎

国史跡 本光寺

の改修及び増築工事の予定地を視察。ナスの栽培は、ピオトーフの一角に移す。

郷土資料館

老朽化に伴う床工事のため、しばらく休館となる。

高齢者支援タクシーの利用開始

建設産業
常任委員会
福祉

8月9日協議会開催

80歳以上の、ひとり暮らし高齢者などの外出支援のため、タクシー初乗り運賃の助成を開始。対象者は761人。

問 年収制限や平等性が無い。

答 研究をしていく。

問 今後、障がい者支援並みの助成を。

答 1年から2年の実績をみて考えていく。

幼児教育・保育の無償化

10月から、3歳から5歳までの、子どもの利用料が無償化される。

給食費は、月額4500円が実費徴収される。

幸田小学校（幸田第3児童クラブ）の運営委託

支援員の不足や、待機児童の解消を図るため、民間業者に委託する。

受託業者

ホームックス株式会社

業務期間

令和元年7月19日から

令和2年3月31日

契約金額

1063万8000円

問 委託業者の実績は。

答 平成27年から、豊田市で良好な運営実績がある。



高齢者に喜ばれるタクシー券

岡崎市中央クリーンセンターなど視察

7月12日・23日管内視察

◇岡崎市

中央クリーンセンター

平成23年に供用開始され、幸田町は、昨年7761tの可燃ごみを搬入し、焼却。（町の建設費負担総額は約19億円）

◇幸田町

一般廃棄物最終処分場

陶磁器など不燃残渣を、現在まで1450m³が埋立処分された。

◇地域包括支援センター

住民の心身の健康保持及び、生活の安定並びに福祉の増進を支援している。

◇岡崎市子ども発達センター

幸田岡崎の子どもを対象に、発達に不安がある場合に、早期に必要な相談・医療・支援をする。（町の建設費負担総額は約4億円）



中央クリーンセンターの稼動を視察

◇上六栗子育て支援センター

就園前の子どもを対象として、子育て相談などを行っている。

◇豊坂ほっと館

多世代交流施設として、幼児から高齢者までが交流している。（他2館施設を視察）